

わんぱく学園ニュース

平成26年11月／平成26年12月号 No.171

水辺に育ち、草丈は1メートル以上に伸び、初秋に茎の先に薄紫や白い小花を傘状につける。また、花の色が藤に似て、花弁の形が袴（はかま）に見える花・・・そう・・・ふじばかまの花が咲く頃_____。

花ことばは“あの日を思い出す”“

“残り香に 旅立ちの日の ふじばかま”

遠く平安時代 その桜餅のように甘い香りがする花で、髪に美しい香りを残すために、髪を洗ったとか。情緒あふれる風情。

どんなに忙しい日々でも、自然をまとうゆとりが欲しいもの。しぜんが先生・・・学園の理念と重なり、そんな想いで詠みました。

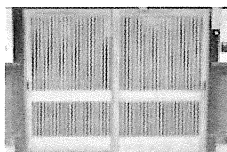
～土江 和世～

わんぱく学園物語・その始まり

“この子なくしては 到底経験し得ず”

わんぱく学園創設者：土江 和世

家にはそんな子はいません！！”と目の前で ピシヤリと閉じられた扉・・・



今から30数年前、今は亡き夫と 障がいある子どもさんがいる家を36軒 一軒 一軒訪ね歩き、”障がいある子どもたちの居場所を一緒に作りませんか・・・？”とよびかけ あるご家庭を訪問した時のことでした・・・わたしは、哀しく 悔しく・・・涙にくれました。そんな時 夫はこう言いました。

”よかったね・・・このお家にはもう一度お話に来れるね・・・”

そうってわたしを励まし、慰めてくれました。

わたしが妊娠7か月に入った頃 職場で転んでしまったことが原因でへその緒が首に巻きつき長男”広”は知的障がいの子どものとしてこの世に生を受けました。“我が子の事を 親が信じなきゃ 誰が信じるんだ！この子を誇りをもって共に育てよう！”という夫のことばに支えられ障がいある子どもたちに同じように居場所を探しているおやごさんたちと共に楽しめる居場所として戸外遊び中心の学園をつくらう！！と活動を始めた矢先のことでした。

でもこのことがあったからこそ、何としても、居場所をつくらねば・・・と強く決意をして、今日まで30数年、”わんぱく学園”という福祉の道を歩んでこれたのです。目の前で閉じられた扉・・・だからこそ、その扉を開ける道が開けたのではないかな？と思っています。そして そこから本格的にわたしの福祉の道がはじまりました。まさか わが子が・・・自分には遠い世界だった”障がい”でも そのおかげで、「この子 なくしては到底経験し得ず・・・」と亡き夫が語ってくれたように、誇りをもって、社会に呼びかけました。今のような法的整備も まだまだ不十分な時代障がいのある子の親が立ち上がって 楽しくまじわえる学園を！！わたしたちの呼びかけが次第に広がり、昭和63年6月26日 ”わんぱく学園”の開園式にまでこぎつけました・・・



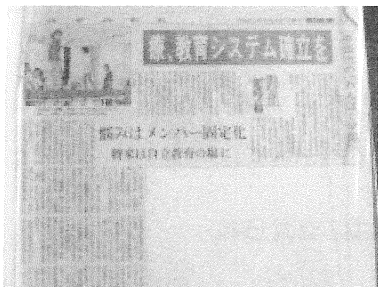
わんぱく”という名前は公募で決めました。99通の応募がありました。その中で一番多かったのが”わんぱく”でした。

親はだれしも 子どもが「わんぱく」であってほしい 元気いっぱいであってほしいと望むのではないのでしょうか？

”ゆめ”を目指す新たな取り組み・・・ということもあってか

～11月&12月の「わんぱく学園のメニューは下記の通りです～

こころあたたかいひとたちがたくさんお祝いに駆けつけてくれました。



参加者全員で
「手のひらを太陽に」
を楽しく合唱♪ ♪

新聞にも大きく紹介されました。この歌は みんなの希望そのもの ♪

ぼくらはみんな いきている いきているから うたうんだ
ぼくらはみんな いきている いきているから かなしいんだ
てのひらをたいように すかしてみれば
まっかにながれる ぼくのちしお
みみずだって おけらだって あめんぼだって みんなみんな いきているんだ
ともだちなんだ

こうして、今につづく 誰が来てもOK.

出席もとらない、

誰一人こない時があってもあきらめない・・・いつまでも待ち続ける

つまり遊びを通して、また自然を通して学ぶ

という学園がスタートしたのです。

こうした活動を支えた理念は”地域になかったら、自分で作ればいい”・・・

という考えから生まれたものでした。

【就労継続支援B型事業所】

わんぱく大使館で はたらいてみませんか？

NPO法人サポートセンターどりーむはアートで自立を目指す活動を展開しています。わんぱく大使館はとっても楽しいところです。アート大好きな人や、そうでなくても、そのあたたかい雰囲気の中で、軽作業をしたい人も大歓迎!!見学もOK、いつでも声をかけてください。



この大使館では、皆さん、大使館員として、絵や陶芸や木工、絵本などを作ったり、みんなで力を合わせて軽作業をしたり、ともかく楽しく働いています。

私たち事業所の理念は”利用者の方を絶対守る!”ことです。安心して過ごして下さい。

内 容	集合時間 9時 50分
★11月2日(日) ○もみじ狩り ～愛宕山公園で、お弁当食べない?～ ・準備：お弁当(おにぎり)、お茶、しきもの ・集合場所：平田中学校 校門前 ・担当：常賀信寛・土江和世 *会費はいりません	
★11月9日(日) 都合につき、お休み *東京でのアート展開催のため	
★11月16日(日) ○わんぱくカフェ(おいしい飲み物とお茶菓子 楽しいゆっくりした時を) 毎月第3日曜日は ”わんぱくカフェの日”の日 ・場所：アトリエ「おちらと」 担当：土江 和世 会費 100円	
★11月23日(日) ○お祝い鍋!千家国麿様 典子様のご結婚を祝して 今年1番の明るいニュース!お二人のお幸せを祈って 温かい寄せ鍋作り *材料は学園で準備。 ・場所：アトリエ「おちらと」 担当：土江和世・高橋猛 会費：100円	
★11月30日 ○好評のプレスレットづくり 材料は学園で用意します ・場所：アトリエ「おちらと」 担当：坂根玄明 会費：100円	
★12月7日(日) ○お好み焼き&焼きそば作り 場所：アトリエ「おちらと」 担当：高橋猛・土江和世 会費：100円	
★12月14日(日) ○わんぱくクリスマスパーティー ～あべちゃんと歌おう!～ ビンゴゲーム・プレゼント交換もあるよ。 準備：100円くらいのプレゼント持ってきてね・・・ 場所：アトリエ「おちらと」 担当：常賀信寛・山口恵子 *会費不要	
★12月21日(日) ○クリスマス カフェ! ～恒例の”わんぱくカフェ” 今回クリスマスに合わせてたのしいひと時を～ 場所：アトリエ「おちらと」 担当：常賀信寛・土江和世 会費：100円 *わんぱく学園を支援して下さいる人から 温かいプレゼントあるかも・・・	

※集合場所・・・指定場所なしの場合は、アトリエ「おちらと」に集合

※学園問い合わせ・・・NPO法人サポートセンターどりーむ

(出雲市東福町 156-1)

TEL/FAX：0853-62-4872 携帯：090-7774-5913

Mail：sc-dream-kt@sky.plala.or.jp

※発行元 NPO 法人サポートセンターどりーむ



(ふじばかま)